

「香川駅周辺地区まちづくり検討会」では、平成13年10月の発足以来、横浜国立大学の高見沢先生のアドバイスを受けながら、実際の現場に何度も足を運び、香川地区におけるまちづくりの課題抽出やまちづくりに対する具体的な提案に向けて議論を重ねてきました。

また、この間、福祉ふれあいまつりや公民館まつりなど地域のイベントに参加して活動のPRを行ったり、埼玉県のカノ市に出向き、まちづくり活動を実践している団体との交流・勉強会なども行ってきました。さらに、ワークショップ、絵や作文によるアイデア募集など、検討会に参加できない地域の皆さんからのご意見も可能な限りうかがいながら、様々な可能性についてパターン化してその長所・短所などを比較検討し、そこで出された意見を集約して、このたび提言としてとりまとめました。

香川の明るい将来は、多くの人が自分たちのまちを暮らしやすくするために積極的にまちづくりに関わり、行政と住民である私たちとの良好なパートナーシップによって、「要望・要求型」から「提案・協働型」のアイデアをどれだけ実現することができるかにかかっています。

この提言の実現にあたっては、まだまだ難しい問題も多々あると思いますが、茅ヶ崎市におかれましては、この提言に込められた私たちの思いを十分に吸収し、さらに専門的な視点で検討いただくことにより、私たちが理想とするまちづくりに向け、早い時期にまず第一歩を踏み出すことができるよう強くお願いする次第です。

平成15年3月
香川駅周辺地区まちづくり検討会
会長 吉田 弘司
委員一同

アドバイザーとして一言…

この検討会に参加して、何よりも委員のみなさんの地域に対する愛情と責任感を強く感じました。検討会では出席率がとても高く、毎回熱心な議論がなされてきました。また、真夏の暑い日差しの中、グループに分かれて現地を何時間もかけて歩いて調査した成果が結実した提言になっていると思います。

いま、各地で住民の手によるまちづくりの提言が出されています。それが実を結ぶためには、つくられた提言が多くの人たちの間で話題になり、より良いものにするための活発な討論があること、そしてできることから順次、実行に移していくことが求められます。

そういう意味で、市はこの提言を真摯に受け止め、単に「一文書」として終わらせることなく、地域と行政が一体となって、実現に向けた計画づくりが着実にすすめられることを願ってやみません。

高見沢 実
(横浜国立大学工学部・検討会メンバー)

香川駅周辺地区まちづくり検討会の構成

公募市民（13名）			
秋田 静子	香川一丁目	河南 有信	香川四丁目
北 芳光	香川四丁目	沓澤 幸子	香川四丁目
熊沢 愛甫	香川二丁目	酒井宗八郎	香川二丁目
鈴木 一郎	香川二丁目	中村五初男	香川二丁目
藤井 等	香川四丁目	味村 京子	香川五丁目
味村 哲夫	香川五丁目	宮本 準司	香川二丁目
吉川 活郎	香川三丁目		
関係団体（7名）			
入澤 昭一	第1町内会	熊澤 勝司	第3町内会
新倉 清（故）	第4町内会	松永 昭	第2町内会
吉田 弘司	第2町内会	新倉 勇	香川商興会
八城彦兵衛	香川商興会		
学識経験者（1名）			
高見沢 実	横浜国大助教授		